

株主メモ

| | |
|------------------|---|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 名義書換代理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 |
| 電話お問い合わせ先 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| 同 取 次 所 | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店 |
| 公告掲載新聞 (お知らせ) | 日本経済新聞 「決算公告」に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ (http://www.nipponroad.co.jp/ir/index.htm) の「Investor Relations」内に掲載しております。 |

【株式に関するお手続きのご案内】

株式の名義書換、配当金のお受取りなどに関するお問い合わせ、また各手続用紙(住所変更、配当金振込先指定・変更、単元未満株式買取請求)のご請求につきましては、上記の当社株式名義書換代理人までご連絡をお願い申し上げます。

【配当金等のお受取り方法について】

配当金等のお受取り方法は、下記の方法からご選択いただけます。

- ①銀行預金口座振込による方法
- ②郵便貯金口座振込による方法
- ③郵便振替支払通知書による現金受取の方法

※③は郵便振替支払通知書に届出印を押印の上、郵便局窓口にて現金をお受取りいただく方法です。

お受取り方法の変更をご希望の場合は、上記の当社株式名義書換代理人までご連絡をお願い申し上げます。



日本道路株式会社

東京都港区新橋一丁目6番5号

ホームページアドレス <http://www.nipponroad.co.jp/>

詳しい財務情報は次のIR情報サイト<IR-BOX>でもご覧いただけます。
<http://www.aspir.co.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています。



大洲南舗装工事/愛媛県

平成16年度事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



日本道路株式会社

株主のみなさまへ



代表取締役社長

原 毅

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに平成16年度（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたりまして、ひとことごあいさつ申し上げます。

平成16年度の日本経済は、企業収益の改善に伴い民間設備投資の増加から景気は回復基調ではじまりましたが、政府建設投資が引き続き減少傾向をたどるとともに、年度後半からは原油価格の高騰及び輸出伸び率の鈍化、在庫調整等の動きもあって減速したことから、16年度全体を通しては緩やかな景気回復にとどまりました。

当社グループの主要事業である道路建設業界の経営環境におきましては、政府建設投資の6年連続減少により公共事業の縮減が依然継続しており、地方自治体の財政悪化に伴う地方単独事業の減少と相まって、道路関連工事が著しく減少し、非常に厳しい経営環境の中で、熾烈な企業間競争に終始いたしました。

このような状況下、当社グループは受注量確保と利益創出に懸命に取り組んでまいりましたが、受注・売上・利益といずれも前連結会計年度を下回る結果となりました。

平成17年度につきましては、第5次中期経営計画（NVP=Nipponroad Victory Plan）を5月にスタートさせ、3つの経営基本方針のもと、単年度ごとに重点行動指針を掲げ、健全な財務体質の継続を目指し、当社グループ一丸となり企業経営に取り組んでまいり所存であります。なお、数値目標につきましては、従来の業務内容を見直し、徹底したコストダウンの実行によるコスト競争力の強化を主眼に策定しており、設備投資面では、同業大手・地元企業との協業化による空白地域への製造拠点の積極的な展開を推進し、特に建設副産物等を対象とする中間処理（リサイクル）施設の最新鋭設備への更新、増強を推し進めてまいります。重点的な技術研究開発としては、道路舗装分野における循環型社会形成に寄与する環境貢献型商品・技術（産廃リサイクル・ヒートアイランド抑制・CO₂排出量削減・NO_x（窒素酸化物）低減など）の強化、自動車の走行安定性・安全性に寄与する「超高機能舗装」「凍結抑制舗装」の普及展開、地方道・生活道路などの軽交通道路の補修ニーズに対応した「ローコスト補修工法」の確立、といった点を中心に技術ラインナップを取りそろえ、各種道路ストックの有効活用ニーズに対応していきたいと考えています。

当社では、上場企業コーポレート・ガバナンス5原則に則り、経営の健全性・透明性・効率性の確保という視点から、株主のみなさまの権利・平等性を確保し、ステークホルダー（利害関係者）との関係を尊重した社内体制を整備構築して、各種経営情報の開示と透明性の確保を実施するとともに、取締役会・監査役会等による経営の継続監視を実施することを基本としております。

平成15年6月に、会社全体の重要な意思決定と監督を強化するため、取締役の員数を削減し、執行役員制度を導入いたしました。さらに各営業年度における取締役の経営責任をより一層明確化するとともに、経営環境の変化に対応できる経営体制を機動的に構築するため、平成17年6月より取締役の任期を2年から1年に短縮いたしました。また、監査室を中心とした計画的業務監査等の内部監査体制のさらなる充実、強化を推進しております。

コンプライアンス（compliance=法令と企業倫理の遵守）経営につきましても、コンプライアンス体制整備の一環として、平成16年4月に「コンプライアンス基本理念・指針」の制定、「コンプライアンス委員会」の設置を行い、業務遂行上遵守すべき法令、行動規範の周知徹底と、実行、管理を推進しております。

平成17年4月に施行された個人情報保護法につきましては、所管官庁のガイドラインに基づいて「日本道路株式会社の個人情報保護方針」「個人情報取扱いに関する規則」を社内にて制定し、お客さま、株主のみなさま等の個人情報保護への対応について、全社的に万全の措置を講じて対処してまいります。

なお、平成16年度の配当金につきましては、株主のみなさまのご支援にお応えすべく、前年度と同様の1株につき5円とさせていただきますので、なにとぞご了承下さいますようお願い申し上げます。

今後も、株主のみなさまのご期待に応えるとともに、社会に貢献し、お客さまに満足していただく製品・サービスを提供することにより、業績の向上に努力してまいり所存であります。

株主のみなさまには、なにとぞ引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

当社グループの営業成績

(連 結)

| 区 分 | 平成15年度 | 平成16年度 | 前年度比(%) |
|----------------|---------|---------|---------|
| 受 注 高 (百万円) | 135,081 | 133,413 | △ 1.2 |
| 売 上 高 (百万円) | 140,206 | 133,477 | △ 4.8 |
| 経 常 利 益 (百万円) | 2,077 | 945 | △ 54.5 |
| 当期純利益 (百万円) | 930 | 383 | △ 58.8 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 9.50 | 3.97 | |

(当 社)

| 区 分 | 平成15年度 | 平成16年度 | 前年度比 |
|----------------|---------|---------|--------|
| 受 注 高 (百万円) | 121,434 | 119,579 | △ 1.5 |
| 売 上 高 (百万円) | 127,077 | 119,408 | △ 6.0 |
| 経 常 利 益 (百万円) | 1,788 | 724 | △ 59.5 |
| 当期純利益 (百万円) | 770 | 250 | △ 67.5 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 7.90 | 2.61 | |

セグメント別 受注高・売上高

(単位：百万円)

| 項 目 | 連 結 | | 当 社 | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| | 受注高 | 売上高 | 受注高 | 売上高 |
| 部門別 | | | | |
| 建 設 事 業 | 102,142 | 102,206 | 93,805 | 93,634 |
| 製 造 ・ 販 売 事 業 | 24,765 | 24,765 | 25,462 | 25,462 |
| 賃 貸 事 業 | 5,643 | 5,643 | - | - |
| そ の 他 の 事 業 | 861 | 861 | 311 | 311 |
| 計 | 133,413 | 133,477 | 119,579 | 119,408 |



松山競輪場/愛媛県



大鳴門橋/兵庫県～徳島県

第5次中期経営計画

(NVP=Nipponroad Victory Plan)

道路建設業界を取り巻く環境は激変しており、熾烈な企業間競争も激しさを増しております。その中で、平成17年度を初年度とする3か年中期経営計画を策定し、顧客満足度に対応した新たな需要を創出する企業への飛翔を目指すとともに、企業の社会的価値向上の実現を図ることによって利益を確保し、安定配当の維持と適正な利益還元を推し進めてまいります。

経営基本方針

- ①安全を総てに優先させます。
- ②グループ経営の源泉である受注量を確保します。
- ③徹底したコストダウンの実行によって、安定経営に必要な利益を確保します。

数 値 目 標

(連 結)

| | 平成17年度計画 | | 平成18年度計画 | | 平成19年度計画 | |
|---------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| 売 上 高 | 1,350億円 | | 1,380億円 | | 1,410億円 | |
| 売上総利益 | 7.7% | 104億円 | 7.8% | 108億円 | 7.9% | 112億円 |
| 営 業 利 益 | 1.3% | 18億円 | 1.4% | 20億円 | 1.6% | 23億円 |
| 経 常 利 益 | 1.3% | 18億円 | 1.4% | 20億円 | 1.6% | 23億円 |
| 当期純利益 | 0.5% | 6.5億円 | 0.6% | 8億円 | 0.7% | 10億円 |

(当 社)

| | 平成17年度計画 | | 平成18年度計画 | | 平成19年度計画 | |
|---------|----------|-------|----------|------|----------|------|
| 受 注 高 | 1,190億円 | | 1,210億円 | | 1,230億円 | |
| 売 上 高 | 1,200億円 | | 1,215億円 | | 1,235億円 | |
| 売上総利益 | 7.3% | 87億円 | 7.4% | 90億円 | 7.5% | 93億円 |
| 営 業 利 益 | 1.3% | 15億円 | 1.3% | 16億円 | 1.5% | 18億円 |
| 経 常 利 益 | 1.3% | 15億円 | 1.3% | 16億円 | 1.5% | 18億円 |
| 当期純利益 | 0.5% | 5.5億円 | 0.5% | 6億円 | 0.6% | 7億円 |



●**レインボーミックSG**
 ・カラーゴムチップと自然砂とバインダーを混合した、自然色弾性舗装です。
 ・ゴムの弾性により、ソフトな歩行感を味わえます。



●**保水性ロングターフ人工芝**
 ・芝丈の長い人工芝の間に保水性のある瓦骨材を詰めて、路盤にも瓦骨材を適用した、限りなく天然芝に近い保水性人工芝です。
 ・保水性により輻射熱を緩和するので、ヒートアイランド現象を抑制します。



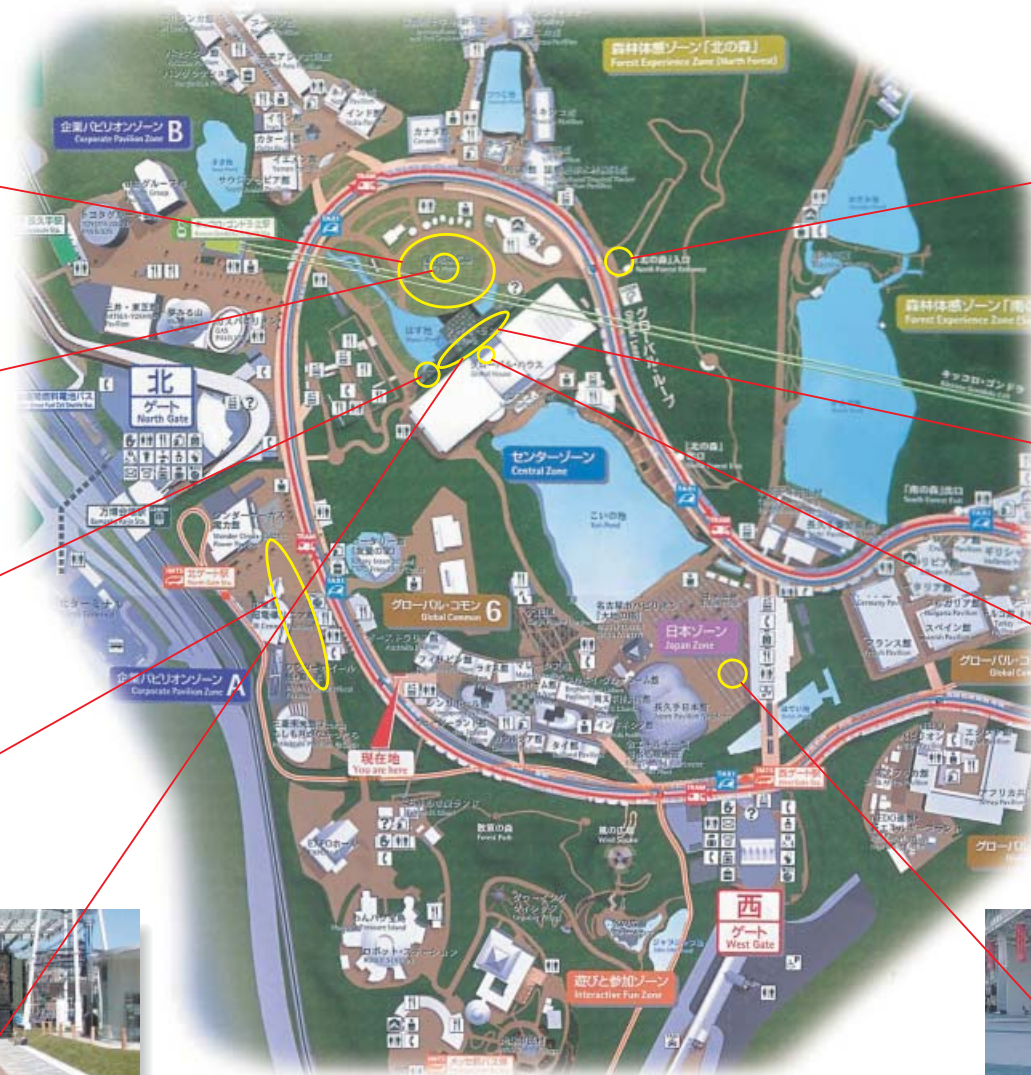
●**緑化ウォール**
 ・花や草木で覆われた緑化壁です。
 ・植物の力によって二酸化炭素の吸収・酸素の供給をします。
 ・壁を覆った植物が、輻射熱を抑制して夏季の気温の低減を図ります。



●**レインボーミックLP**
 ・自然の砂質土や玉砂利・石灰岩などの骨材と石油系樹脂バインダーとを加熱混合した自然色透水性舗装です。
 ・車両交通がある箇所や勾配の急な箇所にも適用できます。



●**マグフォームミック**
 ・環境に優しいマグネシウム系セメントと土、吸水骨材とを混合した土舗装です。
 ・降雨を浸透保水するので、ヒートアイランド現象抑制にも寄与し、水たまりがでにくい舗装です。
 ・適度な硬さがある土舗装なので、歩きやすく、車いす及び車両(4t以下)の走行も可能です。



●**レインボーカラーG**
 ・ゴムチップとウレタン樹脂の混合物を敷均したソフトな透水性のカラー舗装です。
 ・適度な弾性があり、ソフトな歩行感が味わえます。
 ・透水性があり、水たまりができません。



●**レインボーエコロブロック瓦**
 ・瓦骨材を主体とし、陶磁器廃材や廃ガラスもリユースしています。
 ・瓦骨材の持つ高い保水性と透水性によりヒートアイランド現象抑制に寄与します。
 ・再リサイクルも可能です。



●**レインボーボラストーン**
 ・インドネシア産の天然石で、保水性に優れた舗装材です。
 ・保水性により輻射熱を緩和するので、ヒートアイランド現象を抑制します。
 ・透水性もあるので、降雨時の水たまりがでず、滑りにくさも併せ持った天然石舗装です。



●**レインボーボラブロック**
 ・透水性及び保水性と耐久性を誇るセラミックブロックです。
 ・タイルやガラス屑、汚泥焼却灰等を高温で焼成したリサイクル商品です。
 ・照り返しが少ない清涼感と多様なカラーの組み合わせが可能です。

日本道路は **愛地球博** に協力しています。



トピックス

製造・販売事業

多様化する社会ニーズに応えるため、全国のアスファルトプラントから各種の舗装材料を供給するとともに、製造拠点の統廃合による効率経営を目指し積極的に行動しています。

また、循環型社会を支えるためにプラント設備を活用した汚染土壌浄化事業、アスファルトコンクリート塊・セメントコンクリート塊再生事業等にも積極的に取り組み、より良い社会環境作りを目指して社会資本の整備に貢献しています。

■ エコスラグ

ゴミの処理は大きな社会問題ですが、ゴミ焼却灰を溶融処理したスラグ（エコスラグ）の有効活用に取り組んでいます。

エコスラグは、一般廃棄物を1,200℃以上の高温で溶融処理して発生したスラグを冷却して得られます。排出されるエコスラグを自社開発の整粒機（エコロサンダー）で天然砂に近い性状に整え、アスファルト舗装用材料として活用します。環境安全性については、厚生労働省の溶出基準に適合しています。

福岡合材センターでは、エコスラグを材料としたアスファルト合材が事前審査制度の認定混合物として認められ、富山合材センター・日本海アスコンでは富山、山形各県のリサイクル認定制度によるエコ事業所の認定を受けております。



アスファルトプラント(仙台南アスコン)



アスファルトプラント(福岡合材センター)



エコスラグ

海外事業

東南アジア地域を中心に20年以上にわたり継続して海外事業を展開しております。タイ国、マレーシア国においては、道路專業会社単独としては非常に早い時期から海外現地法人を設立し、現地発注工事の獲得に努めるとともに、国内工事で培った技術力を活かして現地に根ざした企業として活動を続けてきております。また、国際入札案件応札を軸とした本邦直轄工事にも対応しており実績を上げております。近年では、上記常設拠点周辺地域における事業活動にも取り組んでおり、昨年度はラオス国にて工事を受注いたしました。当社は、道路專業会社の海外工事のパイオニアとして蓄積された資源を有効活用し、進出地域への社会貢献を充分に行いながら今後も積極的に海外事業を推進し、当社グループの業績向上に寄与できるよう努力してまいります。



マレーシア電化複線化工事 3A-C1 工区
(スリムリバー～スンカイ)

品質・環境マネジメントシステム関連

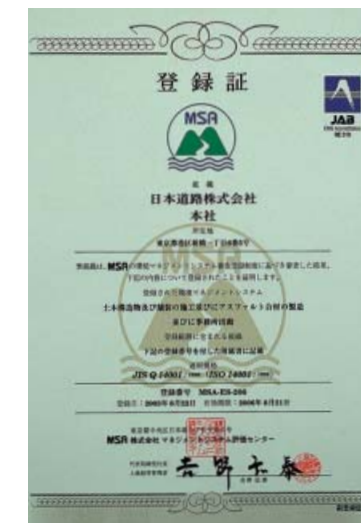
当社は、お客さまに良質の製品を提供することを最大の使命と認識して、全社品質方針を1996年8月に策定し、顧客のニーズを的確に把握、顧客視点の提案、良質な製品の提供、迅速な対応で顧客の信頼と満足を得よう品質マネジメントシステム（ISO9001）を実行し、維持し、継続的な改善を目指しております。

認証登録は1999年11月に全支店で登録を完了し、ISO2000年版改訂への移行審査につきましても、2002年12月に完了いたしました。なお、顧客満足の向上と継続的改善の更なるレベルアップを図るべく、本社の全部門を含めての全社統合化を2004年8月に完了いたしました。

環境マネジメントシステム（ISO14001）につきましては、2001年4月1日、環境保全活動を、より確実に実施していくため「環境方針」を策定し、環境への負荷の少ない事業活動を推進するとともに、2003年8月に本社及び東京支店で認証登録し順次拡大し環境影響の低減活動を推進しております。

環境影響低減の課題につきましては、通常の施工活動におきまして、建設副産物適正処理、建設資材の再利用、排出ガスの抑制・低騒音・低振動機械の使用、アイドリングストップ等を重点項目として実施し、環境影響の低減に努めております。

また、環境影響低減に有益となる環境関連工法の営業展開を積極的に進めるとともに、新技術の研究開発で環境は最重点項目として取り組んでおり、人に優しい道路技術ならびに環境に優しい工法の開発に積極的に取り組んでおります。



長野市初のPFI事業者

長野市初のPFI事業「長野市湯湯（ぬるゆ）地区温泉利用施設整備・運営」において、当社と地元企業を中心に結成したグループが事業者に特定されました。温泉を利用した心身の健康維持・増進の場としての提案内容が高く評価されたことでした。当社では、PPP事業推進室を設置し、グループ会社の総力を結集して、PFI事業や指定管理者制度による運営・維持管理事業に今後も力を入れてまいります。



(完成予想図)

決算概要

決算概要（連結）

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成16年度 (平成17年3月31日現在) | 平成15年度 (平成16年3月31日現在) | 科 目 | 平成16年度 (平成17年3月31日現在) | 平成15年度 (平成16年3月31日現在) |
|----------|--------------------------|--------------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|
| 流動資産 | 84,779 | 85,223 | 流動負債 | 65,905 | 67,351 |
| 現金預金 | 11,252 | 13,619 | 固定負債 | 11,786 | 10,754 |
| 売上債権 | 55,453 | 51,807 | 負債合計 | 77,692 | 78,105 |
| 棚卸資産 | 13,341 | 12,991 | 少数株主持分 | 95 | 88 |
| その他 | 4,732 | 6,805 | 資本金 | 12,290 | 12,290 |
| 固定資産 | 45,002 | 45,656 | 資本剰余金 | 14,520 | 14,520 |
| 有形固定資産 | 36,109 | 36,309 | 利益剰余金 | 23,852 | 23,982 |
| 無形固定資産 | 554 | 772 | 株式等評価差額金 | 1,926 | 1,923 |
| 投資その他の資産 | 8,337 | 8,573 | 為替換算調整勘定 | △ 52 | △ 15 |
| 資産合計 | 129,781 | 130,880 | 自己株式 | △ 544 | △ 14 |
| | | | 資本合計 | 51,993 | 52,686 |
| | | | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 129,781 | 130,880 |

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成16年度 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) | 平成15年度 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 133,477 | 140,206 |
| 売上原価 | 123,859 | 128,847 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,779 | 9,183 |
| 営業利益 | 839 | 2,175 |
| 営業外収益 | 269 | 205 |
| 営業外費用 | 163 | 302 |
| 経常利益 | 945 | 2,077 |
| 特別利益 | 368 | 644 |
| 特別損失 | 382 | 372 |
| 税金等調整前当期純利益 | 930 | 2,349 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 259 | 346 |
| 還付法人税等 | △ 157 | - |
| 法人税等調整額 | 436 | 1,058 |
| 少数株主利益 | 8 | 14 |
| 当期純利益 | 383 | 930 |

決算概要（当社）

貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成16年度 (平成17年3月31日現在) | 平成15年度 (平成16年3月31日現在) | 科 目 | 平成16年度 (平成17年3月31日現在) | 平成15年度 (平成16年3月31日現在) |
|----------|--------------------------|--------------------------|----------|--------------------------|--------------------------|
| 流動資産 | 79,973 | 81,094 | 流動負債 | 56,225 | 57,713 |
| 現金預金 | 9,248 | 12,037 | 固定負債 | 8,411 | 7,746 |
| 売上債権 | 51,322 | 48,443 | 負債合計 | 64,637 | 65,459 |
| 棚卸資産 | 11,291 | 11,129 | 資本金 | 12,290 | 12,290 |
| その他 | 8,110 | 9,484 | 資本剰余金 | 14,520 | 14,520 |
| 固定資産 | 35,270 | 35,734 | 利益剰余金 | 22,413 | 22,650 |
| 有形固定資産 | 26,032 | 26,017 | 株式等評価差額金 | 1,926 | 1,922 |
| 無形固定資産 | 383 | 574 | 自己株式 | △ 544 | △ 14 |
| 投資その他の資産 | 8,854 | 9,142 | 資本合計 | 50,606 | 51,368 |
| 資産合計 | 115,244 | 116,828 | 負債及び資本合計 | 115,244 | 116,828 |

損益計算書の要旨

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成16年度 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) | 平成15年度 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 119,408 | 127,077 |
| 完成工事高 | 93,634 | 102,205 |
| 製品等売上高 | 25,774 | 24,872 |
| 売上原価 | 111,548 | 117,573 |
| 完成工事原価 | 88,435 | 95,850 |
| 製品等売上原価 | 23,112 | 21,722 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,302 | 7,683 |
| 営業利益 | 558 | 1,821 |
| 営業外収益 | 307 | 212 |
| 営業外費用 | 141 | 245 |
| 経常利益 | 724 | 1,788 |
| 特別利益 | 315 | 646 |
| 特別損失 | 384 | 430 |
| 税引前当期純利益 | 655 | 2,005 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 139 | 143 |
| 還付法人税等 | △ 157 | - |
| 法人税等調整額 | 423 | 1,091 |
| 当期純利益 | 250 | 770 |
| 前期繰越利益 | 313 | 21 |
| 当期末処分利益 | 563 | 791 |

利益処分（当社）平成16年度

(単位：円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|--------------------|-------------|-------------|
| 当期末処分利益 | | 563,683,768 |
| 任意積立金取崩額 | | |
| 特別減価償却準備金取崩額 | 4,031,780 | |
| 固定資産圧縮記帳準備金取崩額 | 3,213,932 | 7,245,712 |
| 合 計 | | 570,929,480 |
| 利益処分額 | | |
| 株主配当金 (1株につき5円) | 475,144,175 | |
| | | 475,144,175 |
| 次期繰越利益 | | 95,785,305 |

(注) 株主配当金は、自己株式2,587,352株を除いて計算しております。

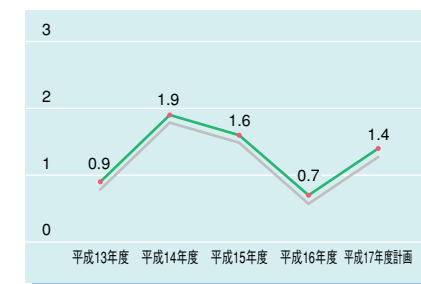
連結キャッシュ・フローの要旨

(単位：百万円)

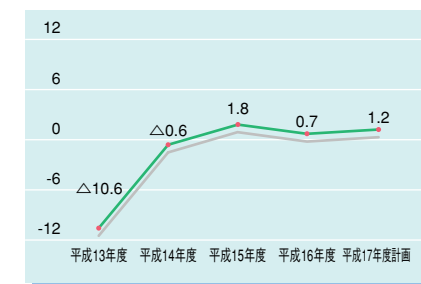
| 科 目 | 平成16年度 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) | 平成15年度 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 860 | 3,078 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,879 | △ 2,313 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,219 | △ 689 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 31 | △ 4 |
| 現金及び現金同等物増減額 | △ 2,269 | 70 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 13,496 | 13,425 |
| 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物増減額 | 12 | - |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 11,238 | 13,496 |

連結財務ハイライト

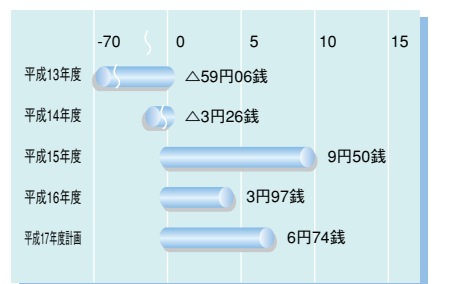
総資本経常利益率（ROA）の推移（%）



株主資本利益率（ROE）の推移（%）

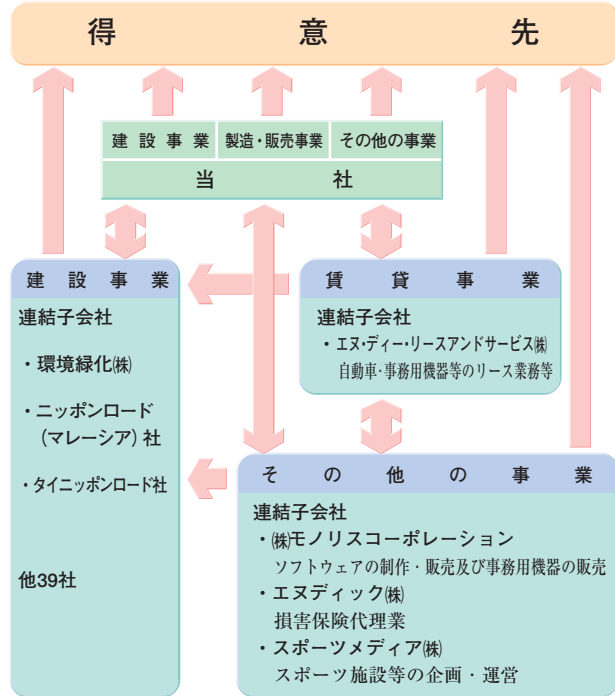


1株当たりの当期純利益の推移

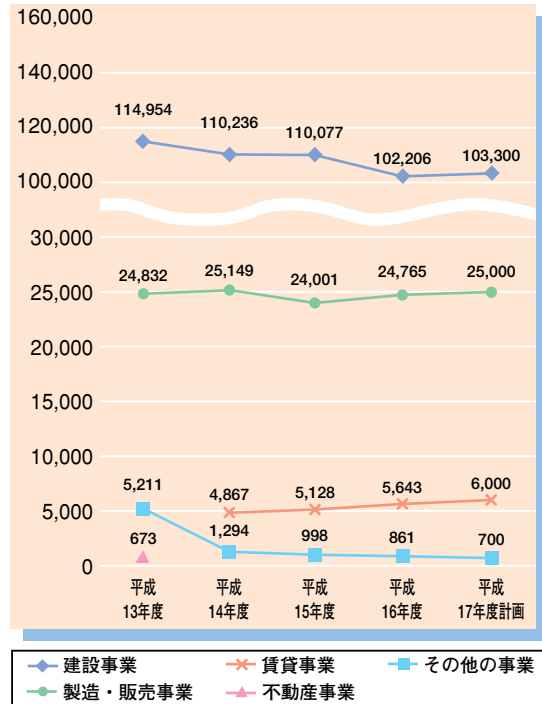


連結セグメント情報

■事業系統図



■セグメント別売上高 (単位:百万円)



(注) 平成14年度より「不動産事業」を「その他の事業」に含め、従来「その他の事業」に含めておりました「リース業務等」を「賃貸事業」として事業区分を変更しております。

- **建設事業**……当社は、舗装工事を主体とし、土木・建築工事、その他建設工事全般に関する事業を営んでおり、環境緑化(株)他は、舗装・土木工事等の施工、施工協力及び土木工事に係るコンサルタント業務を営んでおります。
- **製造・販売事業**……当社は、アスファルト合材・乳剤、その他舗装用材料の製造・販売に関する事業を営んでおります。
- **賃貸事業**……エヌ・ディー・リースアンドサービス(株)は、自動車・事務用機器等のリース業務等を営んでおります。
- **その他の事業**……当社は、宅地等の開発・販売、不動産コンサルタント、不動産賃貸業務を営んでおり、(株)モノリスコーポレーションは、ソフトウェアの制作・販売及び事務用機器の販売、エヌディック(株)は、損害保険代理業を営んでおります。また、当社及びスポーツメディア(株)は、スイミングクラブ・ゴルフ練習場等のスポーツ施設の企画・運営を行っております。

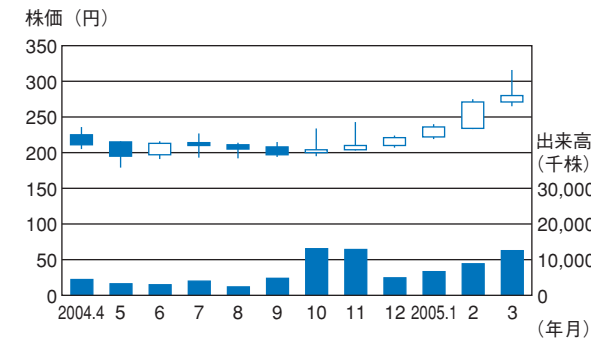
株式の状況 (平成17年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数 380,000,000株
- 発行済株式総数 97,616,187株
- 株主数 12,536名
- 大株主

| 大株主名 | 大株主の所有株式数 | 出資比率 |
|----------------------------|-----------|-------|
| 清水建設株式会社 | 21,834千株 | 22.3% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,843 | 4.9 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,336 | 4.4 |
| 日本道路従業員持株会 | 2,252 | 2.3 |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 2,200 | 2.2 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,895 | 1.9 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 1,790 | 1.8 |

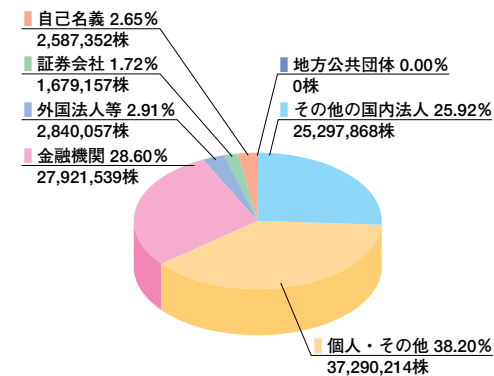
(注) 当社は、自己株式2,587千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

● 株価チャート



(注) 株価及び出来高は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

● 所有者別株式数分布状況



会社の概要 (平成17年3月31日現在)

- 商号 日本道路株式会社
所在地 東京都港区新橋一丁目6番5号
電話 (03) 3571-4891 (代表)
- 設立 昭和4年3月10日
資本金 12,290,266,959円
従業員数 1,468名
- 主な事業内容
1. 道路建設及び舗装工事
 2. 一般土木工事
 3. 一般建築工事
 4. 環境整備工事
 5. スポーツ・レジャー施設工事
 6. アスファルト合材・乳剤の製造販売
 7. 産業廃棄物の処理並びに再生製品の販売
 8. 建設コンサルタント
 9. 賃貸事業
 10. 不動産取引業務
 11. 建築設計・監理

取締役・監査役 (平成17年6月29日現在)

| | |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 原 毅 |
| 代表取締役 | 松 延 正 義 |
| 代表取締役 | 好 武 龍 夫 |
| 代表取締役 | 湯 村 野 洋 郎 |
| 代表取締役 | 星 野 参 郎 |
| 代表取締役 | 坂 本 義 俊 |
| 常務取締役 | 黒 井 俊 正 |
| 監査役 | 宮 崎 正 太郎 |
| 監査役 | 中 島 新 太郎 |
| 監査役 | 西 澤 英 人 |

執行役員 (平成17年6月29日現在)

| | |
|---------|-----------|
| 執行役員社長 | 原 毅 |
| 執行役員副社長 | 松 延 正 義 |
| 専務執行役員 | 好 武 龍 夫 |
| 専務執行役員 | 湯 村 野 洋 郎 |
| 専務執行役員 | 星 野 参 郎 |
| 専務執行役員 | 中 清 水 輝 義 |
| 専務執行役員 | 坂 本 田 剛 夫 |
| 執行役員 | 大 村 宏 修 |
| 執行役員 | 伊 藤 政 治 |
| 執行役員 | 山 藤 口 博 三 |
| 執行役員 | 久 松 博 三 |
| 執行役員 | 田 中 良 恒 |
| 執行役員 | 伊 比 宗 雄 |
| 執行役員 | 天 尾 雅 実 |
| 執行役員 | 及 川 研 輔 |
| 執行役員 | 兼 林 英 信 |
| 執行役員 | 小 田 山 口 |
| 執行役員 | 井 口 久 美 |